

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 8年 6月 20日

事業所名 わいわいポケット

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4			学習スペースと 活動スペースを 分けている	クールダウン等ができる個別スペース の確保
	2	職員の配置数は適切である		4		状況に応じ、募集 をかける等して調 整している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている		2	1	低学年や運動障が いがある場合は階 段昇降時に職員が 付き添う	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が参 画している		3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	4				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4				ホームページで公開（予定）
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4			研究資料回覧や 遠隔会議参加等で 研修機会を確保し ている	
適切 な	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 で、放課後等デイサービス計画を作成して いる	4				今後も適切な支援ができるよう 努めていく
	9	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使 用している	3		1		非常勤職員との情報共有についてICT の活用等により充実させる
	10	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	1	2	1	活動プログラムの 分野別に担当者を 決め実施	
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	3		1		
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援している	2	1	1	学校休業中、利用 者の希望を聞き、 外出を多く取り入 れている	

な 支 援 の 提 供	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	3			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		3	1		スタッフ会議がやや不足 非常勤職員との意見交換 情報共有の継続
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		2	2		
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1	1		
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1			
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		3			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		会議には児発管が参加している	会議で得た有効な情報の全体共有ができる
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1		必要に応じ、利用者在籍校担当者と連絡調整実施	
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		保護者の要望に応じ、情報共有の機会を設定	
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			利用者、ご家族の要望に応じ、情報共有の機会を設定	
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			事例検討会等に参加	研修で得た有効な情報の全体共有ができる
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			連絡帳等により情報を共有している	

	25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	2		実施について検討中
保護者への説明責任等	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3				
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1		保護者と顔を合わす機会をとらえて実施	
	28	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	1	1		
	30	個人情報に十分注意している	4				
	31	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1		連絡帳を使用	
非常時等の対応	32	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1			
	33	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			長期休業中に実施	
	34	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			定期的に委員会を開催	
	35	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1			
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4		該当者がいない	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	1	委員会を設置し定期的に実施	